

北上川上流洪水減災対策協議会の開催

1. 概要

- 北上川上流における堤防の決壊や越水等に伴う大規模な浸水被害に備え、隣接する自治体や県、国等が連携して減災に取り組むため、5月17日に減災対策協議会を設立しました。
- 「避難する・地域を守る・防災力を育てる」ことで、被害の最小化を目指すため、今後の5年間で取り組むべき対策について、8月を目標に「地域の取組方針」をまとめます。

2. 日時／実施状況

- 日 時 :平成28年 5月17日(火) 10:00 ~ 12:00
- 場 所 :岩手河川国道事務所 2階 大会議室
- 出席者 :盛岡市、花巻市、一関市、滝沢市、雫石町、岩手町、紫波町、矢巾町、平泉町の長
北上市、遠野市、八幡平市、奥州市、西和賀町、金ヶ崎町の防災担当
盛岡地方气象台、岩手県 総務部、岩手県 県土整備部
岩手河川国道事務所、北上川ダム統合管理事務所 関係機関 約60名が参加

議事内容

- ・(1)規約及び傍聴規定の説明 →異議なし、協議会設立
- ・(2)~(4)ビジョン、現状の水害リスク、減災目標(案)の説明 →説明後に意見交換、出席構成員からご発言



協議会の状況 (岩手河川国道事務所)



盛岡市長



花巻市長



一関市長



滝沢市長



雫石町長



岩手町長



紫波町長



矢巾町長



平泉町長

3. 主な意見等

- ・住民の避難を迅速に実行することが使命であり、洪水時のホットライン等により、いち早く情報を提供いただき地域住民に周知することが必要。
- ・下流の市町は、上流の自治体との情報共有を重要視している。
- ・北上川本川とあわせて、支川の減災対策を考える必要がある。
- ・より詳細な気象警報の発表が必要。過去の災害より被災箇所は把握できており、避難に関する情報が重要である。
- ・洪水時のダムの状況を瞬時に把握できる体制が、ダム上下流の自治体を問わずに重要である。
- ・洪水タイムラインを活用し、『いつ、だれが、何を』を、意識した災害想定訓練が重要である。
- ・北上川の今後の水位予測が重要であり、いち早く予測の情報を提供いただくと、住民に対して危険性を周知できる。